

防災研究会レポート

I. 一周年記念特別シンポジウムの開催

後楽園ホテルで約300名が参加

防災研究会も1周年を迎え、去る5月20日(月)に記念事業として特別シンポジウムを開催した。特にテーマは、今初冬に起きたトンネル崩落事故から「斜面防災の予知」として話題提供、ディスカッションを行った。この時期は、まだまだ事故等の調査検討段階ではありましたが私たち防災を志す技術士にとってこの事故のみの問題だけではなく、多方面の角度から斜面防災予知について取り組もうという事であった。

会場は、後楽園ホテルにて行われ、約300名の参加者をもって行われた。(写真-1)

当日はPM1:30～総会報告を松井幹事長が行いPM2:00～5:00までシンポジウムを大島副会長がコーディネーターとして行った。(写真-2)

シンポジウムに参加されたパネリストの方々は地質、或いは斜面防災に卓越された応用理学技術士の4名の方々にパネリストをお願いした。

横山俊治技術士(川崎地質㈱・技術研究所)は、「斜面不安定化への予兆現象」、衛藤正敏技術士(日本工営㈱・大阪支店)は、「岩盤斜面の不安定化例」、横田寛技術士(㈱構研エンジニアリング)は「地震時における斜面崩壊」、そして高橋輝明技術士(北海道開発コンサルタント㈱)は、「寒冷地における斜面

災害」の各々のテーマで話題提供をいただいた。

横山技術士と衛藤技術士は、ALL JAPAN 的立場、特に応用地質学会等の活動から斜面の不安定化問題と予知のメカニズム等を幅広くご講演下さった。又、横田技術士と高橋技術士は、北海道の資料をベースに南西沖地震による影響等も含めて話題をなげかけられディスカッションに至った。(写真-3)

最後に、コーディネーターの大島技術士(北海道技術士センター副会長)は、今回のトンネル事故の教訓を重視し斜面崩壊のメカニズムからそれらの予知に関して4氏の統括を行いシンポジウムを終えた。

PM5:30～同ホテルにて約100名の方々の参加にて懇親会を行い防災研究会1周年記念をここに終了した。(写真-4)

II. 防災研究会の平成8年度の活動について

平成9年5月に「報告集」を発行

防災研究会幹事会では、各分科会(情報系、地盤系、交通系、都市系、水工系)活動をベースに平成8年度の活動を検討しましたのでここに報告します。

1) 講演会関係

H8.5.20 総会、特別シンポジウム

「斜面防災の予知」後楽園ホテルにて約300名にて開催

H8.10.9 日本技術士会北海道支部

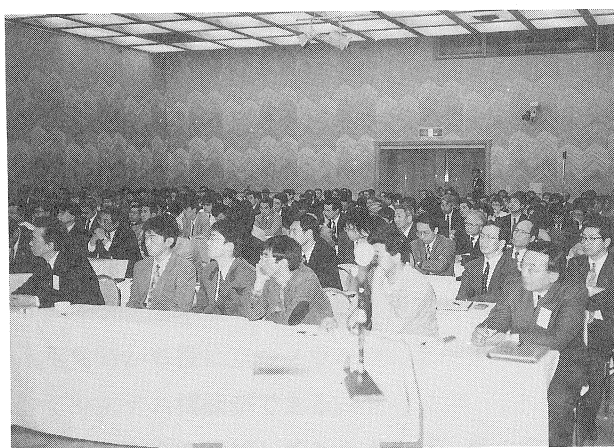


写真-1 後楽園ホテルの会場は、約300名の参加で満席



写真-2 大島紀房技術士がコーディネーターとなってシンポジウムはすすめられた

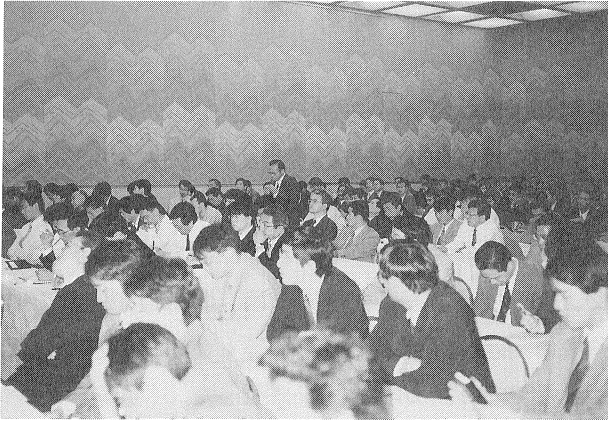


写真-3 会場からも活発に意見が出された



写真-4 約100名の参加で、懇親会も盛況

「地方公共団体職員と技術士との合同セミナー」の支援

テーマ“地震に強い「まち」づくり”

当研究会からは、コーディネーターとして能登会長、パネリストとして地盤系より斉藤和夫技術士「地盤の液状化被害と予測」情報系より加治屋安彦技術士「防災と情報の関わり」交通系より木村和之技術士「地震被害の予測と軽減」として話題提供された。

H 8 .12. 2 合同分科会講演会（情報系、交通系、都市系）

かでの 2・7 (PM 1:00～PM 4:00)にて行う予定

H 9 .1 下旬 合同分科会講演会(交通系、都市系)

2) 第1期防災研究会 (H 7 .4～H 9 .3) 報告集の発刊について

H 9 .5 月平成9年度防災研究会総会を目途に発刊予定である。

3) 防災研究会インターネットホームページの開設

H 9 .4 月を目途に防災研究会ホームページを情報系分科会にて検討を進めている。

(文責 松井義孝)